献立に新しく郷土料理取り入れました!

今回は東北地方より青森と宮城!献立紹介いたします~



実に高ってん(音楽)もともとおでんに味噌文化が根付いていた青森。



冬の厳しい寒さの中、青函連絡船に乗り込もうとする 船客の体を少しでも暖めようと、屋台のおかみさんが 味噌に生姜をすりおろして入れたのが喜ばれ、広まったそうです。



いがメンチ風(音楽)



いが(津軽弁でイカのこと)を刺身にしたときに残る「ゲソ」を 叩いてミンチにし、玉ねぎや人参といった野菜と共に小麦粉で まとめて揚げたのがはじまり。 大人気のソウルフードです。



大豆を水に浸し、すりつぶしたものを「呉(ご)」と言い、呉をみそ汁に 入れたものを呉汁と言います。宮城県は大豆の栽培面積が第2位の産地。

仙台名物のずんだを蒸しパンに混ぜ込んだもの。



ずんだは名前の由来に伊達政宗公が関わる説があることや、 今と同様の甘いずんだ餅になったのは幕末の頃からと伝えられて いることなど、古くからの歴史がある食べ物です。

CERCHA HOROMETERS --

鶏の治部煮(石川)、鮭のちゃんちゃん焼き(北海道)、 ごった煮(奈良)、筑前煮(福岡)、人参シリシリ(沖縄) 何処の郷土料理 魅力的ですよね!

だ

2025年10月 第168号 発行 万寿苑栄養課

